

# みんなが選ぶおすすめ本 応募結果紹介

皆様からご応募いただいたおすすめ本を発表します。

記入いただいたおすすめポイントもあわせて紹介しています。

また、今回の応募条件に当てはまらなかった本も、番外編としました。

ご応募くださった皆様、ありがとうございました。

タイトル	著者	出版者	出版年	おすすめポイント
おいしいごはんが食べられますように	高瀬 隼子	講談社	2022年3月	・食べ物について、深く考えさせられる1冊です。 ・主語がコロコロ入れ替わるところが面白い。
首取物語	西條 奈加	徳間書店	2022年9月	少年と首だけの侍が旅をする設定が面白く会話に引き込まれました。最後はちょっと泣ける。
恋ふらむ鳥は	澤田 瞳子	毎日新聞出版	2022年7月	
フィールダー	古谷田 奈月	集英社	2022年8月	
ブレイクスルー	柴田 哲孝	双葉社	2022年11月	過激な描写もありますが、ハードアクションの好きな方にはおもしろい作品といえるでしょう。
無年金者ちとせの告白	西尾 潤	光文社	2022年6月	パーキングエリアで働く73歳の女性・ちとせは年金も医療保険もなく、身体を痛めても働き続けるしかない。彼女の働くPAを中心に、老々介護、車上生活、ひきこもり、児童虐待など、さまざまな社会問題に直面する人々が描かれる。ちとせが明るくコミカルなので、テーマの重さのわりに軽く読める。自分とは縁遠い世界のように感じて身につまされるところもあり、福祉のあり方を考えてしまう作品。
夜に星を放つ	窪 美澄	文藝春秋	2022年5月	

\*タイトルの50音順

## みんなが選ぶおすすめ本 番外編

タイトル	著者	出版者	出版年	おすすめポイント
ザリガニの鳴くところ	ディーリア・オーエンズ	早川書房	2020年3月	良質・正統派のラブストーリーであり、ミステリーであり、最後は深く心に残る素晴らしい作品。
月の満ち欠け	佐藤 正午	岩波書店	2017年4月	2022年12月に映画化された本。月の満ち欠けのように人は生まれ変わるといふ、ロマンありの内容の本だった。ほんわか幸せな気分になる、本。
ブリキの太鼓	ギュンター・グラス			ダークヒーロー/オスカルが大活躍。映画は前半まで。後半も面白い。
	音 はつき			* 著者名のみ記載。2022年に『夏の夜明けを待つ僕ら』（実業之日本社）が出版されています。
いつつごうさぎとゆきのもり	まつお りかこ	岩崎書店	2022年12月	うさぎたちがかわいいところ。料理を作っているところ。
海の忍者たち	中村 庸夫	日本書籍	1991年9月	にんじゅつ！しちへんげのページ
海へのふしぎな生きものたち	よしざき かずみ とりない けいこ	岩崎書店	2006年7月	30ページのいいだこのなかま
かいけつゾロリイシシ・ノシシ大ピンチ!!	原 ゆたか	ポプラ社	2008年12月	さいごのイシシとノシシはどうやってゾロリの帰りを待っていたか
作家になりたい (シリーズ)	小林 深雪	講談社	2017年3月	雪人を見つけた時 (1巻)
10かいだてのまほうつかいのおしろ	のはな はるか	PHP研究所	2021年4月	10かいだてまでのぼって、さいごたどりついたら、まほうつかいになれる
月の満ち欠けのひみつ	関口 シュン	子どもの未来社	2013年3月	勉強になるから
つんつくせんせいどうぶつえんにいく	たかどの ほうち	フレーベル館	1998年9月	たのしいです

\* タイトルの50音順